

2021 年度（令和3年度） 名古屋大学基金 会計報告

2021 年度の名古屋大学基金の寄附受入金額は4 億7,302 万5,770 円となりました。皆様よりあたたかいご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

■ 2021 年度の寄附受入状況

- ◇寄附金合計額【現金寄附】：4 億6,419 万4,949 円
- ◆寄附金合計額【物納、有価証券等を含む】：4 億7,302 万5,770 円

①法人と個人の内訳【現金】

法人からの寄附、個人からの寄附についての内訳は以下の通りです。

分類	法人			個人							合 計
	企業	その他	小計	職員	退職職員	在学生	卒業生	在学生の保護者	卒業生の家族	一般	
寄附件数 (件)	178	34	212	182	136	28	1,341	255	211	282	2,647
寄附金額 (千円)	245,601	19,425	265,026	5,699	15,039	521	81,193	9,155	30,669	56,892	464,195

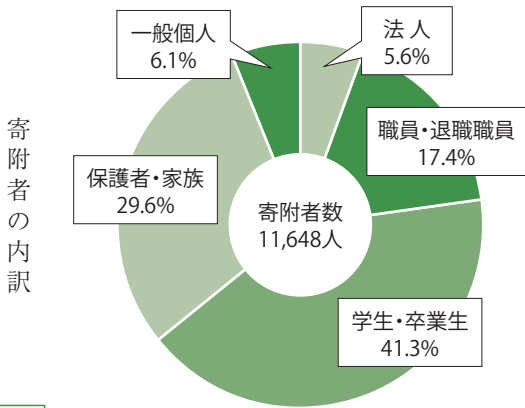
②基金本体と特定基金【現金】

基金本体と特定基金の寄附状況については以下の通りです。

分類	寄附件数 (件)	寄附金額 (千円)
基金本体	1,034	201,400
特定基金	1,613	262,794
合 計	2,647	464,195

■ 2005 年度～2021 年度の寄附受入状況

- ◇寄附総額【現金寄附】：80 億5,878 万151 円
- ◇寄附者数：11,648 人
- ◆寄附総額【物納、有価証券等を含む】：202 億5,573 万7,051 円



■ 2021 年度 名古屋大学基金事業収支状況

《収入》

区 分	金額
前期繰越	275,878
当期運用益	201,761
合 計	477,639

(単位：千円)

《支出》

区 分	金額	内 訳
下駄の鼻緒奨学金	2,400	日本人学生2人×60万円（年間） 留学生2人×60万円（年間）
G30学部留学生奨学金	21,824	15人×奨学金50万円×4学年 （未渡日分は支給対象外） 入学金282,000円（初年度）
海外派遣日本人学生給付金	107	短期研修0名（渡航費上限10万円） 交換留学2名（渡航費上限20万円）
アジアサテライトキャンパス奨学金	0	短期スクーリング滞在費
ホシザキ奨学金	63,360	奨学金144万円×22人×2年分
牧誠記念研究助成	1,000	研究助成金50万円×2人
中嶋家研究基盤環境支援事業	5,000	全学共用機器修繕／改修 4件
若手研究者支援事業	9,863	若手研究者雇用経費 1人
新型コロナウイルス緊急対策事業	11,490	コロナ禍における全学の 学生支援事業に充当
次期繰越	362,595	
合 計	477,639	

(単位：千円)

■2021年度 特定基金事業総括

特定基金事業の寄附受入件数、寄附受入額、執行額については以下の通りです。

事業名	寄附件数 (件)	受入額 (千円) ※下段は累計額	執行額 (千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
工学部・工学研究科支援事業	127	12,209 (82,706)	7,080 (20,770)	【実績】工学奨学奨励金制度：88件 工学研究科博士後期課程入学者のうちの希望者全員（留学生を含む該当者84名）に70千円を支給、他の大学院博士後期課程入学者のうちの希望者全員（留学生を含む該当者4名）に50千円を支給 若手研究者支援：1,000千円（2名分）
青色LED・未来材料研究支援事業	64	28,929 (93,169)	2,426 (7,055)	【実績】知的財産管理費 483千円、オンライン英会話補助 607千円、学生奨学支援 1,336千円 【計画】知的財産管理費、学生海外派遣助成費、学生奨学支援、装置購入費
アジア法律家育成支援事業	13	340 (18,736)	397 (5,006)	【実績】「日本の法律書のウズベク語への翻訳プロジェクト」への支援を行い、関係者の協力のもと、『ビジュアルテキスト国際法』のウズベク語への翻訳と現地での出版を行った。
女性リーダー育成支援事業	22	542 (4,025)	0 (0)	【計画】女性研究者、女子学生、院生の育成支援や、その推進のための調査研究及び男女共同参画推進における活動の実施等
名高商・名大経済学部・経済学研究科100周年記念支援事業	37	4,240 (70,096)	1,965 (31,504)	【実績】経済学部100周年記念誌の発行および封入・発送費用 1,965千円
医学系未来人材育成支援事業	51	6,050 (142,380)	5,000 (14,500)	【実績】学修支援事業として困窮学生に奨学金を支給。5,000千円（5名）
名古屋大学 「大学発ベンチャー応援事業」	28	42,978 (73,870)	5,272 (13,539)	【実績】モノづくりベンチャー活動支援金 2件 1,432千円、ビジネスプランコンテスト 5件 2,800千円、アイデアピッチコンテスト 6件 600千円、イベント活動支援金 2件 160千円、その他物品制作費・購入費 5件 280千円
医学部附属病院支援事業	55	29,798 (235,449)	0 (11,640)	【計画】患者サービスの向上及び診療環境の充実のため、本基金を活用予定。
名古屋大学附属図書館支援事業	150	3,630 (21,925)	2,615 (7,604)	【実績】図書館施設の整備事業 301千円、高木家文書の電子化事業 110千円、高木家文書資料館展示の充実 2,204千円
ジェンダー平等支援事業	7	85 (50,937)	272 (19,199)	【実績】2021年12月に策定した女性教員増員策の実施中（2022年1月1日以降成果により抛出）であり、女性教員の支援を引き続き行った。 【計画】2022年度は、今後の成果に従い、女性教員が増員した場合などに本基金を活用し、順次各部局への配分を実施する予定。
農学部・生命農学研究科教育研究支援事業	70	5,934 (132,685)	7,454 (21,474)	【実績】奨学金給付 3,800千円（4名）、その他（研究者奨励費執行分）3,112千円（4名）、「木造建築」「木材」について研究している研究室の環境整備 542千円
次世代保健医療リーダー育成支援事業	11	591 (2,286)	0 (0)	【計画】学生教育環境整備事業及び若手研究者支援事業に使用する予定
トランスフォーマティブ生命分子研究所支援事業	53	501 (1,559)	0 (0)	【計画】ITbMでは融合研究と人材育成を推進するためのピッチコンテストを企画しており、基金では優れたアイデアに対してアワードの贈呈を準備している。
教育学部附属中・高等学校75周年記念国際化推進支援事業	44	1,161 (7,261)	0 (0)	【計画】高校生の海外派遣や留学生の渡航費用等に支援する予定。また文科省受託研究のWWL研究開発（2021～2023年度）の国際交流活動でも活用する予定。
創薬科学研究科支援事業	32	1,002 (4,175)	0 (173)	【計画】学外との学術的、人的交流を図るための講演会の運営及び渡航支援等に執行する予定。講演会の運営に係る活動支援資金、渡航活動支援金、創薬科学研究科設立10周年記念行事 など
理学部学生支援事業	24	2,194 (8,328)	455 (905)	【実績】理学部長顕彰：6名 300千円 理学部奨励賞：31名 155千円
PhD登龍門支援事業	39	5,236 (62,258)	200 (11,691)	【実績】コロナ禍で海外研修などが実施できず、第22・23回国際情勢講座開催経費 200千円 【計画】住居補助などの経済的支援、海外研修事業、登龍門プログラム全般事業

事業名	寄附件数 (件)	受入額 (千円) ※下段は累計額	執行額 (千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
教育学部・教育発達科学研究科 創設70周年記念学生支援事業	11	5,165 (8,376)	0 (0)	【計画】学部学生への奨学金制度を開始する。その他、若手研究者支援の方法についても検討を進める。
博物館支援事業	13	322 (975)	0 (0)	【実績】学内経費でHPの基金の案内画面及び基金の案内パンフ等を作成した。さらに博物館ウェブサイトを全面的にリニューアルし、特定基金案内ページをわかりやすく整備するなど、博物館への支援のお願いを行なった。
巨大災害から次世代を守る 減災館支援事業	39	921 (7,699)	99 (1,066)	【実績】展示コンテンツ(ロールスクリーン他)の更新 【計画】所属教員による講演映像等をYouTubeを介してweb公開するオンデマンド講演「バーチャルギャラリートーク」や「減災館バーチャルツアー」の開催などを通じて、新しい生活様式に対応する情報発信の在り方を模索する。
数理科学学生支援事業	44	437 (3,950)	0 (0)	【計画】優れた数理科学人材の育成、およびそれを実施するための教育・研究環境の整備を行う。
創立75周年記念文学部研究 基盤整備支援事業	7	246 (11,525)	0 (0)	【計画】図書室及び図書の収蔵スペースの整備・拡充、大学院生・若手研究者の顕彰
創基150周年医学部基盤整備 支援事業	222	53,049 (205,809)	8,848 (32,277)	【実績】2020年度から継続の創基150周年に係る基盤整備事業の一貫として竣工する医学部史料館の移設改修工事を行った。
総合科学による古代エジプト 調査研究支援事業	6	415 (1,255)	0 (169)	【実績】ギザの3Dデータを用いた考古学的解析として、ピラミッド研究の世界的な第一人者であるマーク・レーナー博士の festschrift に“The Great Gash on the Menkaure Pyramid”を寄稿した。現場調査に向けては、World Scan Project Inc. (3Dスキャンの技術を活用し世界の歴史的建造物をデジタルアーカイブとして未来に継承していく活動を行う企業)と共同研究を公式に開始した(2021年11年~2025年10月)。
名古屋大学漕艇部艇庫・ 合宿所等整備支援事業	64	4,654 (30,739)	0 (0)	【実績】漕艇部艇庫改修工事(新艇庫建設)については、基本計画に基づいて艇庫新営等の設計業務が進められた。また、用途許可に係る近隣住民の意見聴取会を12月に開催、その後、名古屋市より許可が得られた。さらに年度末には、予定していた建設用地が取得された。 【計画】早急に建設設計案の確認を行い、令和4年度内の早期の着工および竣工を目指す。
博士課程人材育成支援事業	8	1,058 (1,753)	0 (0)	【計画】博士課程人材育成のための奨学金として支出する予定。
次世代環境人材育成支援事業	6	4,562 (8,772)	2,413 (2,413)	【実績】次世代環境人材育成奨学金 1,000千円、フィールド教育支援 962千円、新分野チャレンジ支援 400千円、新講義科目『環境問題の最前線』開講(非常勤教員招へい) 51千円
食と健康に関する学際的研究 支援事業	1	15,000 (15,000)	1,780 (1,780)	【実績】食と健康の未来創造研究公募事業を2件採択し、各事業を推進した(1,780千円)
若手研究者支援を推進する 研究等支援事業	17	1,166 (1,166)	0 (0)	【計画】研究等支援事業の具体支援策を整備し支援金を支出予定。
企業によるエンカレッジメント 奨学金事業	3	4,000 (6,500)	2,500 (2,500)	【実績】名古屋大学特定基金エンカレッジメント奨学金:2,500千円(500千円×5件)
経済的困窮学生の修学支援 事業	135	15,905 (53,412)	4,998 (15,698)	【実績】理学部奨学金 1,800千円、法学研究科奨学金 3,198千円
Withコロナでのキャンパス ライフ応援事業	212	10,474 (10,474)	10,474 (10,474)	【実績】自宅外学生への生活支援金給付(30千円/人)をはじめ、大学独自の授業料減免(日本人学生/私費留学生)、オンライン講義受講のためのICT環境支援(WiFiルータ貸出)、学術資料収集図書支援(郵送による図書の自宅配送貸出サービス)、学習場所(アクセスポイント)等の提供、渡日できない新入学生(留学生)への入学料/授業料納入猶予、大学の宿舍等自宅で待機する留学生への空港からの移動支援、感染防止対策物品の支援等
計	1,615	262,794 (1,433,226)	64,249 (285,413)	※累計額は新型コロナ対策緊急支援金を含む

支援を受けた学生の声 ～2021年度名古屋大学基金感謝の集いより～

1. With コロナでのキャンパスライフ応援事業支援受給学生

自分の視野を広げ、新たな常識や思考の仕方を身につけることができる、国際交流は非常に大切であると考えています。しかし、コロナ禍でこのような機会は激減しました。3年生の夏から1年間の交換留学に行きたいと思っていましたが、その夢も諦めかけていました。ところが、ありがたいことに、海外留学室の先生方が「オンライン」による留学機会を用意してくださいました。私はその1つである、未来のリーダーを養成することを目標にした短期留学に参加しました。

自分の進路を定め、そのために日々邁進できるのも、本日ご臨席賜りました皆様をはじめとする方々からの力強く温かいご支援の賜物です。改めてご支援に御礼申し上げます。ありがとうございます。（情報学部3年 上田さん）



2. 海外派遣日本人学生奨学金受給学生

講義の一環で、名古屋大学の協定校である、オランダにあるトゥエンテ大学のサマースクール（短期研修）に参加しました。この際に、名古屋大学基金からご支援をいただきました。

有意義で楽しいサマースクールをオランダで過ごせたのですが、費用がかかるというところが、この短期研修参加を考える上で不安な要素でした。そんな中、海外留学室の先生から名古屋大学基金からご支援をいただけると聞き、迷いなく参加することを決心しました。名古屋大学から同じ研修に参加した何人かの友人も名古屋大学基金が参加の決め手になったと言っていました。このように名古屋大学基金が多くて多くの学生の留学の後押しになっていました。38名もの多くの学生がこの研修に参加した要因の一つは名古屋大学基金による支援だと思います。

繰り返しになりますが、名古屋大学基金からの支援で費用のことを心配せずに研修に集中できたのは幸運でした。本当にありがとうございました。（大学院工学研究科修士1年 堀池さん）



3. G30 学部留学生奨学金受給学生

スリランカから、私が初めて日本に来たのは2017年で、1年間の高校の交換留学をした時です。その時、日本の文化、日本の教育システム、日本人の時間厳守に感銘を受けました。交換留学が終了後も、私は日本語の勉強に励み、日本に来るためにさまざまな教育を受ける機会を探しました。私の夢は日本に来ることでしたが、両親にこれ以上負担をかけずに経済的に安定した生活を送ることも重要でした。この目標を達成するために、私はスリランカの日系企業で日本語の翻訳者として働き、そして、大学に入学するための資金を貯め、留学生に奨学金を支給している日本の大学を探しました。その中で、名古屋大学のことを知り、奨学金制度についても知りました。おかげさまで、2018年のG30奨学金支給学生に選ばれました。毎月いただいている奨学金のおかげで、アルバイトを減らし、勉強に集中することができました。私がここまで来られたのはみなさまのご寄附のおかげです。本当にありがとうございます。

この4年間、多くを学び、目標を持てたのは、G30奨学金のおかげです。特に新型コロナウイルスの感染拡大の時には、私を含め多くの留学生がアルバイトの機会を失いました。そのため、奨学金の支給があることは、私たちにとって大きな支えとなりました。奨学金をいただいている留学生は、みなさまに心から感謝しております。みなさま、誠にありがとうございます。（法学部4年 MATHARAGE さん）



私は、モーリシャス出身で、名古屋大学基金の奨学金をいただきながら勉強しております。私は名古屋大学で経済学を学んで、将来、モーリシャスをはじめ、アフリカの国々の経済発展につながる仕事をしたいと思っています。名古屋大学では、専門の経済のほかに数学や歴史、経営などの科目を学ぶ機会も多くありました。大学の先生方はとても熱心に指導してくださいました。特に最近のコロナ禍での先生方の努力にとても感謝しています。大学の勉強のほかに、インターンシップでは、アフリカに投資する日本のベンチャーキャピタルと東京の投資会社の2つの会社で仕事を体験することができました。もし、名古屋大学基金の奨学金をいただいていなかったら、たくさんアルバイトをしなければならないので、インターンシップはできなかったと思います。このインターンシップは、私の将来の目標につながる大切なものです。皆様の奨学金のおかげで、私の名古屋大学での4年間は実り多いものになりました。心から感謝しております。皆様、これからもどうぞ、あたたかく名古屋大学の留学生を見守っててください。ありがとうございます。（経済学部4年 MOORLI さん）



名古屋大学 Development Office (DO 室)

〒464-8601 名古屋市中種区不老町

TEL.052-789-4993 FAX.052-747-6383 E-mail : kikin@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学基金ホームページ <https://kikin.nagoya-u.ac.jp/>

